

# 心のまなざし 11月号

令和3年10月29日発行 認定こども園様似町立幼児センター

## 深まる秋、自然の中で季節を楽しみいきいきと過ごす子どもたち

～10月の子ども達の様子～

朝晩の冷え込みが日ごとに増して、アポイ岳、観音山、そして幼児センター周辺の野山も秋の色合いが深まってきました。園裏土手にはノブドウが美しく色づき、それに気づいた子どもたちが手に取ってじっくりと眺めたり、保育室に秋の彩を添えるように飾り付ける様子がありました。ある日の異年齢保育の散歩では、保育者が用意した道具を使い、年長さんが朽木をたたいて、穴をほじって木の中にある虫を見つけ、2歳児クラスの小さなお友達は空き地に置いてあった板をめくると、冬ごもりのために身を寄せ合うテントウムシたちを見つけ驚いたり喜んだり…大変楽しい散歩となりました。

「子どもたちは「身近な生態系」を五感で楽しめる天才です。」

園周辺の身近な自然の中で、そしてアポイ岳をはじめとしたジオパークの貴重な自然環境の中で子どもたちが五感をフル活用して楽しめる保育実践に取り組み、柔軟な心と体を育てていきたいと思えます。



散歩で自然観察（3、4、5歳児異年齢）  
当日の担当保育者が用意した道具を、上手に使いこなす5歳児。朽ち木の表面に穴が開いていることに気づき、慎重に道具を使って穴をほじって大きくしています。その様子を注意深く観察する周りの子たちも真剣に見つめていました。

### ☆ジオ学習（アポイ山麓公園）

【写真右】アポイ岳ジオパークビジターセンター、水永学芸員から4歳児に向けて「キノコ」について教わりながら、山麓公園内を散策しました。キノコと木が共生し、森が豊かになること、一見毒キノコと思いきや、おいしく食べられるキノコのことなど、子どもも大人も楽しい学びの時間となりました。



【写真左】アポイ山麓公園沿いを流れるポンサヌシベツ川では、5歳児クラス担任が、釣りの腕前を披露！周囲が驚くほどの早業でヤマメやニジマス釣り上げる様子に、クラスの子どもたちも大喜び！！

クラス担任が子どもころから父親に連れられて親しんできた趣味を生かし、子どもたちが様似の自然の豊かさ、自然の中で遊ぶ楽しさを感じ取る機会となりました。







☆第12回運動会☆  
 緊急事態宣言下で延期となった運動会。当日朝まで雨が続き開催が危ぶまれましたが、開会直前には青空となり、子どもたちの活躍が光る、楽しい運動会となりました！！  
 応援していただいた皆様、ありがとうございました！！

☆泥団子づくり（4、5歳児）☆  
 昨年度に引き続き、ピカピカの泥団子づくりに挑戦しました。今回が初めてとなる4歳児は、団子を形づくる段階から、粘土の感触を喜び歓声や笑顔があふれる楽しいひと時となりました。今回2度目の5歳児クラスは、粘土の水加減もちょうどよく、昨年よりも上手に丸め、仕上げ磨きも気持ちを込めて頑張ったようです。  
 ◎5歳児クラスの泥団子は、10月26日から開催の作品展（中央公民館）にて展示されております。



☆秋色の表現を楽しむ（3歳児クラス）【写真左】☆  
 ジオ学習で散策したアボイ山麓公園で、落ち葉、木の实などを採取してきた3歳児クラス。保育室に戻ると早速秋色の自然物を使った表現活動が盛り上がりしました。いろいろな形や色から、自由にのびのびとイメージを表現していく子どもたちと、それを見守り、思いに共感する保育者との暖かなひと時はとても楽しそうでした！  
 ユニークでかわいらしい表現が続いています。作品は幼稚園舎廊下に掲示していますので、ご覧ください。

☆秋風の中でも  
 元気に散歩（1歳児クラス）☆  
 広場の土手を頑張って登ろうとするお友達に気づいて、近くへ駆け寄り手を差し伸べるかわり合いを見守りました。小さな心と体の中に、しっかりと思いやりの気持ちが育っているのだと、感動しました。

